

平成27年度第1回奈良市男女共同参画推進審議会会議録【概要版】

開催日時	平成27年7月8日（水）午後1時半から3時半まで	
開催場所	市役所北棟6階 第21会議室	
議 題	1 正副会長の選出について 2 奈良市男女共同参画推進計画実施計画の進捗状況について 3 奈良市男女共同参画推進計画実施計画（平成28年度～平成32年度）について 4 DV防止及び被害者支援基本計画実施計画の進捗状況について 5 奈良市配偶者等の暴力の防止及び被害者支援基本計画（第2次）の策定について 6 平成26年度奈良市男女共同参画センター概要について	
出席者	委 員	栗山委員、大澤委員、大波委員、大橋委員、北出委員、清川委員、坂口委員、島本委員、武田委員、藤本委員、山崎委員、横尾委員【計12人出席】
	事務局	今西市民活動部長、松田市民活動部次長、杉本課長、渡辺補佐、平尾主任、平田
開催形態	公開（傍聴人なし）	
担 当 課	市民活動部男女共同参画課	
議事の内容		
案件1. 正副会長の選出について		
〔質疑・意見の要旨〕 事務局一任ということで、会長に大波委員、副会長に清川委員で異議なし。 議事録署名委員に大波会長と栗山委員。		
案件2. 奈良市男女共同参画推進計画実施計画の進捗状況について		
〔質疑・意見の要旨〕 委員 相談件数のところで、年代別内容別という分析はしていないのか。 事務局 資料3に掲げている程度であり、特に詳しい分析には至っていない。 委員 内容が深刻で救済が必要な方はどのくらいいたのか。 事務局 今のところ心配に至るまでのケースは挙がってきていない。		

委員 男女共同参画課で救済をするというのではなく、他の関連機関の方に連絡するという形になるのか。

事務局 配偶者暴力相談支援センターを、奈良市でも目標に掲げてやっているところではあるが、現在はきっちりしたものはない。もっと掘り下げて深刻な状況になってきた場合は、県などの関係機関と連携をとっていくような形で案内するように考えている。

委員 相談後、何かにつながったのか。

事務局 現在のところそういう声があがっているわけではないが、今後はそういうことも含めて、月一回の女性相談員との連絡会議の中でしっかりと築きあげていきたい。

委員 相談業務を行う中で、精神的な暴力を受けている方がいる。そういう方は話を聞いてもらうとある程度気持ちが落ち着く方もいるが、さらにそういう方がより良く生きていくというところにつなげたいが、奈良ではなかなかそういうところがない。奈良でも精神的に被害を受けている方を支援するような活動をしてもらいたい。近畿圏でそういう相談を行っていて、そういう方を元気づけるような相談室もある。

事務局 現場の声として受け止めて女性相談員にもおろし、今後そう言うことが起こった時にどうしていくかも考えていきたい。

案件3. 奈良市男女共同参画推進計画実施計画（平成28年度～平成32年度）について

〔質疑・意見の要旨〕

委員 一時的に保護しないといけないケースで、こども家庭相談センターもいっぱいだったら保護するところがない。将来的に、専門職員がいるようなシェルターを奈良市に作ってほしい。

事務局 計画の中の話し合いの中でもそういうことを含めて検討したい。

委員 先ほどスケジュールの説明があったが、他の委員会との関わりとか、庁舎内での関わりとかが分かるようスケジュール表のようなものがほしい。

事務局 後日作成してまとめる。

委員 次の計画を作るにあたって、市民の方の意識調査のようなものを実施する予定はないのか。

事務局 この策定については意識調査をする予定はない。

委員 ここに書いている資料の中で、家庭、子供の相談内容というのが、思ったより少ない気がする。保育の現場では、最近の子育てをするお母さんにとっては、核家族という問題で、子育てをどういう風にしたらいいかと色々と相談されるので。

事務局 ここには、当センターの相談件数のみを挙げている。当センターは子育てに限らず、広い意味での女性問題相談なので、来られる方もその辺りを使い分けている場合がある。奈良市の子育て相談課では専門職もいるので、より深い相談内容を援助しているだろうと解釈しており、相談件数も増えているものだと認識している。
こちらに来た相談を、内容によって子育て相談課を紹介するというような連携はしている。子育て相談件数についても子育て相談課に聞いて、またお知らせする。

委員 ワークライフバランスの関係で、データでは育児に関わりたいという意向を持つ若いお父さんが多いのに男性の育児休業取得率が伸びない理由が、やはり評価が下がるなど職場でとりづらい雰囲気があるように思う。計画の中で、是非当事者だけではなくそういう層への啓発も、視野に入れてほしい。

事務局 奈良市でもイクメンハンドブックを作成し、大変関心が高くある。今後も視点を変えて、より一層男性の育児参加をしてもらえる方向に持って行けたらと思う。

委員 高齢者の成年後見に関わるケースが年々増加し、生活保護やすれすれの方にはほぼ無償で支援に関わっているのが現状。ボランティアにも相応の報酬を渡して、関わっていけるような施策を考えてほしい。

事務局 関係課に意見として伝え、反映できる形に少しでも持っていきたい。またセンターとしては今後介護する立場の方という方面からの講座も考えている。

案件4. DV防止及び被害者支援基本計画実施計画の進捗状況について

〔質疑・意見の要旨〕

委員 2,496件という相談件数は、周知が足りなかったと考えられないこともないが、市としては具体的にどのような考えか。

事務局 相談件数が減っているということで、周知が行き届いていなかったと反省している。関係機関に広くリーフレットは配っているが、この時点では行政機関に留まっていた。今後は一般の方がより集いやすいところに広く持っていくべき。今年は7月から医師会の協力を得て病院に置く予定。DV策定委員会からの指摘もあり、今後は商業施設等にも配ることによって、当人はもちろんのこと周囲が相談してもらえようにもっていききたい。

委員 周知に関して、出前講座というのがあったが、どのように話をされたのか。

事務局 中高生に向けての啓発は現在はしていないが、今後計画に載せていきたいと思っている。教育委員会との調整も必要。健康増進課では、大学生に向けた講習の中で、私たちが発行しているリーフレットを使った内容を盛り込んでいる。

委員 1ページの加害者からの相談に応じ、暴力の再発防止に努めるというところで、女性問題相談件数2,496件内DV40件とあり、加害者・被害者双方からの相談含むとあるが、このうち加害者は何人ぐらいか。また、相談先として男女共同参画課、法務省、警察などあると思うが、大体一年間で何件ぐらいの相談があるのか。

事務局 加害者からの相談は今のところないのが現状。加害者被害者双方からの相談を受けるといってやっており、加害者からの相談というのも想定してこのように記載している。
全て合わせた相談件数を奈良市としては把握していないが、「奈良市配偶者等の暴力の防止及び被害者支援基本計画（第2次）」の2ページから3ページに、全国と奈良県の現状は表示してある。

会長 今後、加害者からのデータが出てきた際には披露してもらいたい。

案件5. 奈良市配偶者等の暴力の防止及び被害者支援基本計画（第2次）の策定

について

〔質疑・意見の要旨〕

会長 市長からの諮問があった案件ということなので、文章の表現とか修正が必要などころがあれば、その辺りも指摘頂きたい。

委員 「若い世代の教育・啓発の充実」に関して、リーフレットの配布だけでなく、しっかり時間を取って専門の方が出向いて話をし、教育してもらうのがとても重要。北出校長、今の中学生の現状はどうか。

委員 説明の中にあつた、大人になってからDVを受けたりしないようにという発想ではだめ。中学生の中でも数は少ないが現実にはDVは起きている。高校生になるとかなりの数である。やはりリーフレットの配布だけでは弱い。

事務局 DV計画策定委員から意見があつたように中高生への研修が非常に重要であるということで、新規事業として上げている。この計画に沿って教育委員会との調整の上、実施したいと思っている。

会長 学校内でのDVはどういった状況か。

委員 学校の中ではないと思う。家に遊びに行った時とかで、いわゆるデートDVにあたると思う。

委員 中学校でもDV教育が必要だということで、例えば人権教育をしようとか受け入れようとかという動きは学校の中であるのか。

委員 今なんとか教育というものが山のようにあり、すべてこなすというのは無理だが、人権教育や防犯教室に絡めるとか色々なリンクが出来る。年間の授業数の中で、年がら年中打つというのは現実的には出来ないが必要な事だったらしていかないといけないことの代表だと思う。特に中学生に意識してほしいのが何故に虐待をしてしまうのかということ。その要素を持っている子は沢山いると思うので、その辺の芽を摘みたい。

委員 現実には大学生で初めて気がついたという事例がある。昨年度保健師さんにきてもらってDVの話をおもしろい切り口で授業をしてもらった。小中高からも必要だと思うが、大学生にも必要。虐待という話に関連しては、是非連携を進めてもらいたい。連携とい

	うのは庁内会議の一言ではなくて、早期発見できるよう予防の段階から取り組んでほしい。
委員	基本目標5にも庁内の連携体制の強化が必要と挙げられているが、今どのような連携をしているのか。
事務局	DVについて庁内で共通理解する体制がやっと整ってきたという段階。審議会の場で、現場の色々な意見を聞いたので、担当課におろし、さらに庁内の連携に結びつくようにしていく。
会長	色々な質問があったが、内容的におかしい部分や問題等はなかったようなので、諮問のあった基本計画について修正なしとしてよいか。賛成の方は挙手をお願いしたい。 賛成多数のため審議会の意見とし、この内容で市長に審議会の内容として答申させてもらう。
案件6 平成26年度奈良市男女共同参画センター概要について	
〔質疑・意見の要旨〕 質問等なし。 男女共同参画課長より一言。	
資料	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成27年度 奈良市男女共同参画計画実施計画進捗状況報 (平成26年度実績) (2) 政策決定の場への女性の参画状況一覧表 (平成27年4月1日現在) (3) 平成26年度 女性問題相談室 相談件数 (4) 平成27年度 DV防止及び被害者支援基本計画実施計画進捗状況 報告書 (26年度実績) (5) 奈良市配偶者等の暴力の防止及び被害者支援基本計画(第2次) (案) 策定の経緯 (6) 奈良市配偶者等の暴力の防止及び被害者支援基本計画 (第2次) (7) 平成26年度 奈良市男女共同参画センター概要 (8) 平成26年度 セミナー実施状況報告 (9) 平成27年度 セミナー実施計画(案)